

# ビーチスポーツフェスティバルin京丹後

## 報告書



開催:2015年6月20日(土)  
NPO法人日本ビーチ文化振興協会

◇ビーチスポーツフェスティバルin京丹後

【日 時】 2015年7月19日(日) 9:00～16:00 ※7月18日(土)は台風の影響により中止  
【天 候】 曇り(最高気温31.4℃、最低気温21.2℃)  
【会 場】 京都府京丹後市夕日ヶ浦海岸  
【主 催】 ビーチスポーツフェスティバルin京丹後実行委員会  
【共 催】 京丹後市、日本一の砂浜海岸づくり実行推進会議  
【主 管】 NPO法人日本ビーチ文化振興協会  
【協 力】 京都府バレーボール協会、京都府ビーチバレーボール連盟、京丹後市バレーボール協会、  
ソルジャーブルーサーフショップ、特定非営利活動法人京都ライフセービング

【周辺動員数】 4,000人

【プログラム体験者数】

- ・ビーチバレーボール4人制一般大会『朝日健太郎カップ』・・・ 142人
- ・ビーチフラッグス・・・ 200人
- ・ビーチサン跳ばし・・・ 250人
- ・ビーチ相撲・・・・・・ 130人
- ・海辺図書館・・・・・・ 300人
- ・スタンドアップパドルボード・・・ 60人
- ・熱気球搭乗体験・・・ 260人
- ・ビーチライフトークショー・・・・ 200人

【同時開催イベント】 HAMA-1グランプリ、海の京都博・ウォータープロジェクトマッピング  
【チラシ】

海の京都

ビーチスポーツフェスティバルin京丹後

ビーチバレーボール男女混合4人制一般大会  
『朝日健太郎カップ』

2015年7月19日(日) 8:00～16:00  
会場：京都府京丹後市夕日ヶ浦海岸

※7月18日(土) 14:00～15:00 『ビーチバレーボール朝日健太郎スクール』無料開催!!

参加資格 18歳以上、日本ビーチバレー連盟の選手登録に加盟する選手  
エントリー人数 男子チーム 12チーム・30チーム  
※男女混合チームでも可。チーム編成は任意。男女混合チームは男女別々に入場し、男女別々の試合を行います。  
申込締切 7月10日(金)  
人数 男子 1組・2組・3組  
女子 1組・2組・3組

詳細・お申込みは「ビーチ文化」で検索!  
お申込みは、FAX 03-3552-1220 でも承ります。  
<http://www.jbeach.jp/2015kyotango>

チーム名  
代表者氏名  
連絡先電話番号  
メールアドレス  
その他メンバー

ビーチライフイベント  
ビーチバレーボール朝日健太郎スクール  
(自由練習会、体験教室等)  
海辺図書館

砂浜でリラックス!  
京丹後のビーチを  
7月18日(土)  
13:00～17:00

7月19日(日)  
9:00～16:00

ビーチでアクティブに遊ぼう!

ポイントを集めて豪華賞品をゲットしよう!!

ポイントを集めて豪華賞品をゲットしよう!!

イベントタイムスケジュール

| 18日(土)                         |          | 19日(日)   |               |
|--------------------------------|----------|----------|---------------|
| ビーチバレーボール4人制一般大会<br>『朝日健太郎カップ』 | ビーチサン跳ばし | ビーチフラッグス | ビーチ相撲         |
| 海辺図書館                          | ビーチフラッグス | ビーチ相撲    | スタンドアップパドルボード |
| HAMA-1グランプリ                    | ビーチサン跳ばし | ビーチフラッグス | ビーチ相撲         |
| 熱気球搭乗体験                        | ビーチサン跳ばし | ビーチフラッグス | ビーチ相撲         |

会場MAP



# 海がより近く 大にぎわい

2015  
丹GO

縦貫道全通翌日

夏休み最初の日曜



宮津市文珠の天橋立 家族で訪れた自営業 ไลท์アップも見て帰  
海水浴場は浜辺にテニ  
トが並び、水遊びをす  
る人たちであふれた。

## 親子連れら水遊び

天橋立海水浴場

京都縦貫道全線開通から一夜明け、夏休み最初の日曜となった19日、府北部は各地で最高気温30度以上の真夏日となった。海水浴場や海の京都博関連イベント会場などの観光地は大勢の人でにぎわった。



①海水浴客にぎわう浜辺 宮津市文珠・天橋立海水浴場 ②ビーチフラッグで飛び込むようにラックを取り合う参加者 京丹後市網野町夕日ヶ浦海岸

## ビーチスポーツ熱く

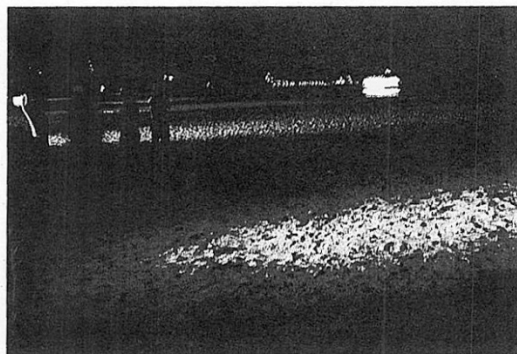
京丹後・夕日ヶ浦海岸

「宮津湾にぎわいフェスタ2015」が開かれ、地引き網体験には家族連れら約100人が参加。捕れた魚を観

察し、写真を撮影するスタ2015」が開かれ、地引き網体験には家族連れら約100人が参加。捕れた魚を観  
「京丹後市網野町の夕日ヶ浦海岸では海の京丹後市田井の田井宮都博コアイイベント」ビーチスポーツフェスティバルin京丹後」を開催。ビーチバレーボール大会は市内外の27チームが熱戦を展開し、向日市の会社員酒井利尚さん(43)は「縦貫道全通で来に来られゲームを楽しめた」と話した。ビーチ相撲やビーチフラッグなどの種目には海水浴の家族連れらも参加し、歓声を上げた。  
同海岸では京丹後青年会議所創立50周年記念事業「JAM-A1グランプリ2015」もあつた。出場した17店は地元食材使いた夫を凝らした丼や麺類、バーガーなどを提供し人気店に長い列ができた。(佐々木伸次)

## 天橋立 幻想の砂浜

「海の京都博」でライトアップ



砂浜が青い光で照らし出され、幻想的な雰囲気。天橋立＝宮津市文珠

「海の京都博」が開幕した18日夜、宮津市の天橋立の砂浜がLED照明でライトアップされた。同市のコアイイベントとして8月30日までの毎夜、午後7時半から9時半まで点灯される。天橋立では1994年から、海岸線をかかり火で照らし出す「炎の架け橋」が一晩限りで開かれていたが、市の財政難などで2011年を最後に途絶えていた。夜間の光のイベントは4年ぶりの復活。14基の照明装置から青、緑、オレンジの3系統で計9色に変化する光が砂浜を照らし、観光客らは幻想的な雰囲気を楽しんでいた。  
一方、京丹後市網野町浜詰の夕日ヶ浦海岸では19日、同市のコアイイベントのビーチスポーツフェスティバルがあつた。砂浜にビーチバレーやビーチフラッグス、ビーチ相撲、サンダル跳はしなどの会場が設けられ、若者や家族連れでにぎわった。ゲストで招かれた元ビーチバレー選手の朝日健太郎さんと浅尾美和さんのトークショーがあり、朝日さんは「世界のビーチを回ったが、ここの砂浜は美しく砂の質がよい」と持ち上げた。京丹後青年会議所主催のグルメイベントもあり、地元食材を使ったメニューで20店が人気を競った。(藤崎昌彦)

## 【所感】

### 「ビーチスポーツの街、京丹後」

ビーチスポーツを活用した通年賑わいのあるビーチ環境創りを目的とした当企画は、プログラムもビーチバレーボール4人制一般大会、子どもから大人まで楽しめるビーサン跳ばし、ビーチフラッグス体験、ビーチ相撲体験、スタンドアップパドルボード体験、のんびり過ごせる海辺図書館を中心にプログラムを作成。それに加え、市の企画として「熱気球体験」、青年会議所運営の地元産物グルメ大会「HAMA-1グランプリ」も同時に開催、また海水浴客も伴い、周辺動員数は4000名と盛会にて実施しました。

企画では、7月18日、19日の2日間でイベントを開催する予定となっていました。台風の影響から18日の開催は残念ながら中止と決定。翌日は台風も去り、雲がかかった日差しを和らげる気候となり、全プログラムを実施する事ができました。

オープニングセレモニーでは、京都府知事山田 啓二様、京丹後市長 中山 泰様が登壇され、「海の京都 京丹後」の魅力と、海辺を活用した地域活性化の起爆剤としてビーチスポーツのアジア国際大会「アジアビーチゲームズ」の日本招致へ向けた情熱を語られました。

また、「ビーチゲームズ日本招致推進プロジェクト」のナビゲーターを務める当協会理事長 朝日と元ビーチバレーアスリート浅尾美和のトークショーでは、「京丹後の白い砂浜と、とても美しい景観を見て、一目で好きになりました」と浅尾の絶賛、双方子どもを持つ親の目線から、ビーチを活用した子育てについて語り、盛り上がりました。更には、ビーチゲームズの魅力を具体的な競技を用いてPRし、観客の様子は終始笑顔でありました。

初めて開催する地であり、ビーチスポーツ体験者も少ない状況から、ビーチフラッグス、ビーサン跳ばし、ビーチ相撲をスタンプラリー形式で体験しやすくし、お子さまから大人まで多くの方に楽しんでいただけました。これを機に、はだしの感触や海水浴以外での遊び方など、ご理解いただけたらと期待します。

### 「ビーチバレーボール4人制一般大会～朝日健太郎カップ～」

エントリーのスタートが間際になってしまったことと、PR不足のため、大会2週間前までエントリーが数チームしか集まらず、不安な準備段階でありました。また、初めて運営するビーチバレー草大会ということで、状況が見えない事もあり、開催当日まで多くの不安を抱えたスタートでしたが、事前準備も地元バレー協会、や福知山成美高校バレー部が中心となり、砂浜のゴミ拾いからコート設営に至るまでたくさんのボランティアが集まり設営をしました。

当日を迎えるとエントリー数142名となり、ビーチバレーが盛んな地元女子高「福知山成美高校」もエントリーし、賑わい感溢れる大会となりました。また、初心者エントリーチームもあり様々なレベルが集まりましたが、上位と下位にわかれてその中での上位を決定するゲーム形式にしたため、みんなが楽しめる大会となりました。

ビーチバレーボール草大会は、地元ローカルルールで運営できるため、審判も負けたチームが務めるルールなので、数名の愛好者が運営の段取りやコート設営を熟知すれば、簡単に開催できる気軽なイベントで各地で好評であります。

また、今回の盛り上げとして選手を引退した朝日と浅尾美和さんが、高校生チームに混ざりエキシビジョンマッチが行われ、プロのパフォーマンスとそれに食らい付く高校生の熱心な動きに観戦していた人々からは拍手と大歓声が送られていました。

海水浴以外の海辺活用は、海外ではいたるビーチで日常に見られる風景であり、目的が無くビーチに来て、何かやっている、誰かが居る、という習慣があり、その優雅さにみな憧れを持っています。海辺で過ごす事が生活の習慣としてなる事が文化に繋がります。

ビーチスポーツイベントも、大きな取り組みだけでなく、愛好者が中心となり、エントリー費の徴収などで受益者負担で運営し、そこからスタートとする事も必要で、夏以外も毎週末数百名の方が集うようになることが理想です。それを行政、企業が支援する仕組みづくりが今後の課題として取り組んでいただける事を期待致します。

#### ■上位

- 1位・・・SIX戦隊青春ジャー
- 2位・・・LIPS A
- 3位・・・がりまっちょ

#### ■下位

- 1位・・・ビーチフェアリーズ
- 2位・・・LIPS B
- 3位・・・ビーチWAVE



### 京都初上陸！ビーサン協会公式大会「ビーサン跳ばし」

京都初上陸として記念すべき第一回目となるビーサン跳ばしは公式大会を開催。子どもから大人まで100名を超える参加者が集まりました。「みなさ～ん、元気ですか！！」と元気いっぱいのビーサン協会ガンちゃんの挨拶に、子どもたちも負けずと大きな声で答えます。力いっぱい足を蹴り上げビーサンを跳ばそうとしますが、なかなか遠くに跳ばず。子どもも大人もその難しさにはまっている様子でした。京都初上陸となったビーサン跳ばしの記録は、子どもの部 9m92cm、大人女子の部 14m50、大人男子の部 17m28cmとなりました。単純なレクリエーションをビーチで体験することで、開放的な空間がこのように活かせることを理解していただきたいと思います。

### 手に汗握る「ビーチフラッグス」

ライフセービング競技の中でもっともポピュラーな種目であるビーチフラッグスは、一早く救助するために必要な瞬発力と判断力を養うための競技です。ビーチフラッグスの基礎の動きについてライフセーバーの遊佐から説明を行いました。子どもたちも初めての競技に少し緊張気味でしたが、笛の合図で、一斉に立ち上がると勢いよく駆けていき、ゴールのホース目がけてダイブ。砂の上ということもあり、ケガの心配はありません。また、大人の部では、仲間を応援する声で盛り上がり、観客を沸かせました。

### 悔しさも学べる「ビーチ相撲」

日本ビーチ相撲協会指導のもと、ビーチ相撲が行われました。参加者には簡易まわしや柔道の帯を着用してもらい、また、即席四股名がつけられ、東と西に分かれて取組みが行われました。子どもたちは顔を真っ赤にしながら押されまいと踏ん張り、体が土俵から出してしまうと、悔しさから涙を流してしまう子もいました。勝ち負けの悔しさと礼節を重んじる教育に伴うことを目的としています。また、成人の部では迫力ある戦いが繰り広げられ、童心に返りストレスの解消につながる事でしょう。

### 優雅に水面を進む「スタンドアップパドルボード」

地元のサーフショップ ソルジャーブルーサーフショップさんのご協力により、スタンドアップパドルボードを体験していただきました。台風の影響もあり、実施が心配されましたが、当日は風も波も落ち着き実施することができ、45名の定員も満員となりました。小学校5年生以下の子どもたちは講師の方と一緒にボートに乗り、ゆっくり進んでいくスタンドアップボートの楽しさを感じながら京都の海を満喫いただきました。2日間の講座を受講し、指導スタッフとして活躍した役所職員も今後は海辺活用の理解者として積極的に活動していただけたと思います。

### スローライフ空間を展開「海辺図書館」

日本大学理工学部海洋建築工学科の生徒が、増え続けてしまう竹を活用して日除けの「竹のパーゴラ」を作成し、憩いの空間として海辺図書館を展開した空間は、ビーチリゾートにいたような感覚でした。そこでは食事や本を読んでくつろいで休憩をとるなど一日を通して300人の方に利用いただきました。浅尾美和さんも竹のパーゴラをととても気に入っており、「海辺図書館は私の大好きな空間なんです。子どもを連れてくつろぎたい」と話されていました。

今回、イベント前まで実行委員会や協力いただく関係団体との打合せを行う時間が少なかったため、進行・運営方法が不明確であったり、ビーチバレーボールのエントリーが乏しいといった状況がありました。計画的にスケジュールを立てていき、目指すべき目的を果たせるよう来年の課題としてこれを解決していき、より充実したイベントとなり、地域活性化、ビーチ環境の向上へつながっていただけるように努めて参ります。

【会場】夕日ヶ浦海岸(京都府京丹後市)





## 【掲出物】



メイン看板



スケジュール看板



本部・救護テント



荷物預かりテント



ビーチバレー受付テント



トーナメント表掲示ボード



## 【同時開催】HAMA-1グランプリ



投票箱



20店舗のお店が並び、美味しい匂いが漂いました



多くの来場者が美味しい食事を堪能し、好きなメニューに投票しグランプリが決定しました。



【ビーチバレーボール4人制一般大会『朝日健太郎カップ』】



27チーム142名の参加者で熱い戦いが繰り広げられました





【開会式】



司会 マスク・ザ・ピーナッツ



開会宣言 朝日健太郎



来賓挨拶 橋本 登 様



競技説明 太田 亘



地元の高校バレー部の方による選手宣誓



開会式の様子





エキシビジョンマッチ



現役時代と変わらない動きを見せた浅尾美和さん



表彰式 入賞チームと記念撮影



【オープニングセレモニー】



実行委員長 東 泰男様



京都府知事 山田 啓二 様



京丹後市長 中山 泰 様



開会宣言 浅尾美和、朝日健太郎



記念撮影





トークショーには多くの方が集まりました



京丹後市のイメージやビーチゲームズ日本招致について話しました





勢いよく足を振りかぶってビーサンを跳ばします



ビーサン協会のガンちゃんによる競技説明



大人も夢中になって楽しんでいました





ホースに向かってダイブ！



元気いっぱいの子もたちと砂浜を走る  
遊佐雅美



女子の戦いも熱い





見合って見合って～ハツキョイ、のこった！



子どもたちも負けないように踏ん張っていました



応援する声に力が入っていました





多くの方が竹のパーゴラの下でくつろいでいました



竹で作った本棚



日本大学理工学部海洋建築工学科制作  
竹を活用した日除け。風にゆらゆら揺られるパーゴラで癒しの空間を演出



【スタンドアップパドルボード】ソルジャーブルーサーフショップ



人気のスタンドアップパドルボードを多くの方が体験



小学校5年生未満の子どもは講師の人と一緒にボードに乗ります

